



# 岡山市連合町内会会報

第42号

令和6年3月発行

発行人：永見 勝 編集委員長：正保 弘行

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 TEL:086-803-1063 FAX:086-803-1872



ホームページ簡単検索

岡山市連合町内会会報

検索

## 岡山市町内会長等懇談会



岡山市連合町内会  
会長 永見 勝

春分の候、町内会関係者各位におかれましてはご健勝とご活躍のこととお慶び申し上げます。

まず、この度石川県で発生した「令和6年能登半島地震」におきまして、被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りします。

さて、令和6年2月4日（日）百花プラザにおいて岡山市町内会長等懇談会を開催しました。

本懇談会は、岡山市連合町内会の活動状況を町内会等の方々に広く知っていただき、相互の理解と連携を深めるために開催しており、今回で14回目の開催となります。

今回は、れんげ賞の贈呈式のほか、岡山市連合町内会及び各区の活動報告、元日本福祉大学教授 磯部作氏による講演が行われました。

皆様お忙しい中、市内の町内会関係者、地域の安全・安心に携わっている方々にご参加いただき、大森岡山市長、田口岡山市議会議長はじめ、多くの来賓の方々にご臨席を賜り、地域で活動をしておられる方々に感謝と励ましのお言葉をいただきました。

また、日頃から永年にわたり地域活動にご尽力され、

れんげ賞を受賞された方々には心からお祝い申し上げます。

活動報告では、岡山市連合町内会及び各区から、スクリーンを使って報告があり、参加された皆様に活動状況をわかっていただけたと思います。

続いて、元日本福祉大学教授の磯部作氏に「河川・用水路から見た海ごみの実態」という演題で講演していただきました。海ごみに関する問題について教えていただいたことは、今後の地域活動に生かしていきたいと思います。

これからも包括的な住民組織として、安全・安心な地域社会の形成、構築、維持に向けて進んでまいります。今後とも町内会、連合町内会へのご理解とご協力をお願いします。



永見会長あいさつの様子



活動報告



講演

### 会報第42号 目次

岡山市町内会長等懇談会	1
北区（御南学区ふるさとづくり活動）	2
中区（三勲小学校創立100周年記念式典・記念事業）	2
東区（東区連合町内会連絡会の活動について）	3
南区（安心・安全な学区づくりのために）	3
三市姉妹交流会	4
全国自治会連合会北海道札幌大会	4
会員視察研修	5
新春互例会	5
岡山商工会議所との懇談会	6
都市整備局との懇談会	6
防災コラム その5（能登半島地震）	7
地縁による団体（自治会）功労者に対する叙勲について	8
電子町内会利活用コンテスト2023結果	8

学区・地区の話題	
大元・足守	9
幡多・城東台	10
浦安・灘崎	11
コラム	
清輝・建部	12
竜之口・御休	13
灘崎・南輝	14
岡山市連合町内会の動き	15
岡山県自治会連合会の動き	
全国自治会連合会の動き	
漢字クイズ	16
編集後記	16

## 北区 御南学区ふるさとづくり活動

北区連合町内会長連絡協議会  
事務局長 澤井 博



令和5年度の北区連合町内会長連絡協議会の活動は、昨年12月2日に開催した定期総会を兼ねた会合となりましたが、学区・地区においては、区づくり推進事業等の地域活性化活動が再開されており、コロナ禍前の活気を取り戻しつつあります。

この状況下において、熊本市北区と岡山市北区のコラボ事業「北区地域活性化動画コンテスト」が昨年12月～1月15日を応募期間に開催され、12月24日に開催した御南学区もちつき大会の様子が、岡山市北区役所作成動画のひとつとして参考出品されました。

御南学区においては、小中学生の地域への関心が薄く地域行事への参加率が他学区と比べ極端に低い状況にあることから、子ども達が自分の故郷として「誇りと愛着」を持つ町づくりを学区重点目標の一つに定め、連合町内会傘下のボランティア団体「ベターライフ御南」を推進役に地域活性化に取り組んでいます。

ベターライフ御南は、子ども達の健全育成を目的に2002年8月に結成し、翌年4月から小学生親子と地域住民が土曜日に集い、学び・遊び・交流する「親子土曜塾」を毎月開催し今日に至っています。この間、2015年に連合町内会直属組織にする体制変更を行い、2021年9月に岡山市区づくり推進事業の指定を受け、今日では「ふるさとづくり活動」の事業名で幼児～高齢者の多世代住民が、地域伝統行事の舟ゆうさん、もちつき大会等の季節行事を毎月2回以上開催し、子ども達の学びと思い出づくりの場としています。

昨年12月24日開催したもちつき大会には300名が参加し、他の行事も50名程度が参加していますので、今後も行事内容を適時見直しながらかつ続きし、地域活性化に努めていきます。



親子土曜塾 七夕まつりの様子



親子土曜塾 舟ゆうさんの様子



親子土曜塾 もちつき大会の様子

## 中区 三勲小学校創立100周年記念式典・記念事業

三勲学区連合町内会  
会長 成田 昌士



晴天に恵まれた11月25日(土)、三勲小学校創立100周年記念式典・記念事業を岡山芸術創造劇場ハレノワ大劇場にて開催しました。

地域、卒業生、寄付者、協賛企業、学校、子供たち、保護者など総勢1,300名を超える方々にご参加いただき、肅々とした雰囲気での記念式典とエンターテインメント盛りだくさんの記念事業は100周年にふさわしい内容となり、参加者全員でお祝いすることができました。記念事業では、ウエストランドの漫才とMCで会場を笑いに包み、みんなも一緒に参加した影絵女子の手影絵パフォーマンス、迫力満点の創志学園高校マーチングバンド部の演奏に感動し、最後に三勲小学校の校歌演奏は会場全員で大合唱となり大変盛り上がりました！

100周年の一連の事業は、地域・学校・保護者を主体とした実行委員会が令和2年夏から準備を進めてまいりました。実行委員会では、記念式典部会・記念事業部会・記念誌部会・地域未来創造部会の4部会で構成され、それぞれの部会がいろいろな事業を企画し100周年を盛り上げました。

今回、全ての事業を通じて、みんなに一体感がうまれ三勲学区全体が一つになり魅力的で持続可能なまちづくりに大きくつながりました。このような大規模な周年行事を無事に開催することができたのは、関わってくださった全ての皆さんの三勲愛があってこそだと実感しました。三勲学区連合町内会として地域活性化の推進をしています。これからも、心地よいまちづくりを目指して三勲学区全体で様々な活動を取り組んでまいります。



記念式典参加者の様子



記念式典の様子

## 東区 令和5年度岡山市東区 連合町内会連絡会の活動について

芥子山学区連合町内会  
会長 藤原 毅昌



まずはじめに、先日の能登半島地震によりお亡くなりになった方に、心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

東区連合町内会連絡会は、20の学区地区で構成され東区の方々少しでも幸せで心豊かに暮らせるよう地域選出の議員の方々、区役所の方々、その他いろいろな団体の方々と協力して活動しています。

5月には総会を行い岡山市長への要望、東区選出の議員、東区役所との懇談などについての事業計画等が承認されました。なお市長への要望は①広域・生活交通網の整備として5か所の交通渋滞緩和の道路整備②総合防災対策の強化として浸水・内水に対する強化、避難所管理、防火委員会、防災組織との連携強化③地域振興施策については下水道の整備促進、空き家対策、獣害対策及び補助対策の拡充などの要望書を東区長へ提出し市長への要望書として強くお願いをしました。また県議、市議、東区役所とも懇談会を行いました。

本年度は町内会長等懇談会が東区の百花プラザで行われ、磯部元日本福祉大学教授の「河川・用水路から見た海ごみの実態」についての講演や各区の活動報告など盛大に行われました。

また新春互例会を行い親睦を深めました。

3月には視察研修として県道岡山美作線（瀬戸ジャンクション）、県道岡山赤穂線（東岡山アンダーパス）などの進捗状況を視察しました。

最後に右の写真は1月26日の文化財防火デーを前に岡山県重要文化財の如法寺無量寿院（東区広谷）で防火訓練を行ったときのものです。当日は岡山市東消防署や岡山市消防団の副団長をはじめ地元消防団（芳野分団・可知分団）の方々が大石住職の119番通報の後、迅速な対応にて訓練が行われました。

無量寿院は国重要無形民俗文化財「西大寺会陽」で裸衆が奪い合う宝木（しんぎ）の原木を授受する寺で有名です。本年度は、「西大寺会陽」も4年ぶりに宝木争奪戦が復活しました。

東区連合町内会連絡会はこれからも会員・地域の方々と連携してより良い地域づくりを目指します。



防火訓練の様子

## 南区 安心・安全な学区づくりのために

第二藤田学区連合町内会  
会長 遠藤 太郎



昨年の7月2日に、「真備の災害から学ぶ」と称して藤田公民館で講演会を開きました。

元灘崎公民館長で自らも被災者である尾藤寿実さんを講師にむかえ、「悔いと悲しみで思い出したくない事ばかりですがこのことを伝え、受けとめてもらう【伝承】が事前の備えや災害時に大きな力になる」と写真を交えて話してくださり、参加した地域の皆さんは熱心に耳を傾けていました。9月24日には、藤田公民館で避難所開設訓練を行い、起震車、AEDや消火器の体験、171災害用伝言ダイヤルの演習に地域の方がたくさん来られました。

また今年の3月には、桜の季節に恒例となっている「どんぶらこの里」ウォーキングと炊き出し・防災訓練をパイプラインポンプ場で行う予定です。防災訓練の後には、笹が瀬川河川敷をみんなで歩き、おにぎりを食べる楽しい企画を予定しています。

そして、第二藤田学区の大きな行事「第14回ふじた桃太郎どんぶらこまつり」を11月19日に第二藤田小学校で行いました。前回同様、今年も大盛況で約1300人の来場者とたくさんの来賓が来ていただきました。日頃の活動の成果を披露してくれた地域の各種団体や子供たちの団体は会場を一層盛り上げてくれました。餅つきのコーナーは人だかりになり、飲食のテント以外にも健康に関するものや体力測定など普段機会のない体験ができてよかったという声がたくさん聞きました。

こういった地区のまつりや防災訓練を通して、3世代の交流や隣近所との絆・地区内のコミュニケーションを育てることがいざという時の助け合いや見守りにつながることを信じ、ますます第二藤田学区が安心安全で住みよい学区になるよう尽力していきたいです。



講演会の様子



どんぶらこまつりの様子



起震車体験の様子

## 三市姉妹交流会

岡山市連合町内会  
常任理事 伏見 公誠



9月22日、鳥取砂丘ビジターセンターほかにおいて四年ぶりに、三市姉妹交流会が開催されました。江戸時代、池田家を藩主に持つことから姫路市、鳥取市と岡山市の三市が、姉妹交流を続けて来ました。ただ、三市が一度に姉妹縁組を行ったわけではなく、平成17年に鳥取市と岡山市が、翌年に姫路市と岡山市がそれぞれ提携調印して平成19年から、毎年、三市が交代で、自市に招いて研修会を開催しながら親睦を図ってきました。しかし、コロナ禍の為、三年間開催できず、今年やっと鳥取市を会場として再開できることとなりました。研修会は「地域の活性化」をテーマに各市から発表がありました。

鳥取市からは、子ども見守り隊を結成するなど、関係諸団体が連携を取りながら子どもたちを育てて行くお話がありました。

姫路市からは「地域活動充実支援事業」として、自治会以外の地区内組織とも連携し、災害時の要援護者支援、団体の問題点の解決、子ども会、老人クラブの見直し、地域の医療福祉施設との協働など様々な活動を行っているというお話がありました。

岡山市からは、バスの車体に落書きして楽しみながら、運転席からの死角を確認して、交通安全を考えるという初めての事業についてお話を頂きました。

その後、質疑応答があり、質問が飛び交い、まちづくりに本気で取り組まれている思いが伝わってきました。

午後から、砂の美術館を視察研修させていただき、帰路につきましたが、ほとんどが初めてお会いする方で、四年ぶりにお会いする方が少なく、世代交代を感じ寂しい思いが残りましたが、相変わらず、まちづくりに対する熱い思いが伝わった勉強となる一日でした。



交流会の様子

## 全国自治会連合会北海道札幌大会

岡山市連合町内会  
常任理事 加藤 公彦



■日時 令和5年10月18日(水) ■会場 北海道札幌市 かでる2.7ほか  
■参加者 岡山市8名

全国の自治会から、約400名の方々が集まり、互いに抱える課題を共有・理解し、解決に向けた研修や情報交換を進めること等を目的として、大会が開催されました。

第一部として内閣総理大臣のメッセージ披露や大会宣言の採択、全国自治会連合会会長表彰等が行われ、岡山県自治会連合会からは、15名が受賞されました。

第二部では、街歩き研究家、和田哲氏による記念講演が行われ、「あなたとつながる北海道・札幌」と題して札幌の歴史や風土などが紹介されました。

第三部では、始めに「デジタルとアナログを合わせた町内会活動」と題して、苫小牧市拓勇東町内会からの発表がありました。

活動内容は、町内会で活躍する高校生役員たち・シニア役員のデジタル化・必ず訪れる“奇跡の瞬間”・アイデアとデジタルで生れ変わる町内会行事等、若者を巻き込む町内会活動に色々参考になりました。

つづきまして「コロナ禍で実践した町内会の防災活動～防災風呂敷の制作」と題して札幌市西区琴似2条中央町内会

から発表がありました。この中の活動で防災のツールとして風呂敷が重要な役割を担っている事に驚かされました。防災の色々な場面で風呂敷が役立っており、大変勉強になりました。

第四部の交歓会で全国の自治会の方々と交流を行い親睦を深め、その後閉会となりました。



式典の様子



講演の様子



事例発表



測量・設計・調査  
株式会社ベクトル

測量業 第(1)-34386号

本社 〒701-1351 岡山県岡山市北区門前221-12  
TEL 086-259-3401 / FAX 086-259-3402  
HP: <http://www.vector-civil-engineering.com/>



家族葬・一般葬・社葬・法要・ギフト

アパールホール

受付 応  
対 無 料

岡山支社

☎(086)902-1122

岡南・西市・西川原・藤田・庭瀬・富山

倉敷

玉野

堀南 老松 中庄 藤戸 田井 荘内  
福田 玉島 児島 児島上の町

地域とともに  
未来を拓く

藤田団地事業協同組合  
一般社団法人藤田団地管理会  
藤田団地汚水処理施設管理組合  
藤田企業団地自治会

〒701-0221 岡山市南区藤田564番地166  
電話 086-296-0020  
FAX 086-296-0021

## 会員視察研修 地域活動のデジタル化について 地域ICTプラットフォームサービス結ネットの取り組み

岡山市連合町内会  
常任理事 山崎 和輝



■日 時 令和5年11月15日(水)～16日(木)

■場 所 石川県金沢市金沢市役所、ひがし茶屋街【重要伝統的建造物保存地区】ほか

■目 的 地域 ICT プラットホームサービス結ネットの活用状況について視察

- ・地域での活動事例
- ・利用者を増やすための工夫
- ・地域への補助制度(補助金など)の状況
- ・事業者(CPU)との連携など

■参加者 37名(事務局3名含む)

地域活動のデジタル化について ～電子回覧板等アプリ(地域 ICT プラットフォームサービス)「結ネット」の取り組み～

当初、金沢市市民協働推進課より「結ネット」の活用について、活用事例を含めた説明を受け、その後金沢市、金沢市町会連合会と意見交換を行った。

○活用状況

金沢市では、概ね小学校区内の単位町内会により、「校化(地区)町会連合会」が組織され、市内の校化(地区)町会連合会により「金沢市町会連合会」が組織されている。「結ネット」は、各单位町内会、校化(地区)町会連合会など地域主体で導入し、行政は財政面を支援、主な目的は、地域の情報共有と発信、若者世代の町内会加入促進、地域コミュニティのICT化促進で、アプリを使用して会議の開催案内、出欠確認、各種お知らせや周知、防災情報、市からの回覧物データの配信等を行っている。

「結ネット」導入の課題として、デジタル機器に不慣れな方の為に、紙媒体を併用していることや、情報発信者(アプリのオペレーター、管理者)の人材確保などがあげられ、導入促進のために、活用事例集を作成し配布、説明会等への派遣サポート、出前講座の実施を行い、未導入の町内会への普及を進めている。

○その他

金沢市内のひがし茶屋街【重要伝統的建造物保存地区】、兼六園ほか視察を行った。



研修の様子

## 新春互例会

岡山市連合町内会  
副会長 矢吹 滋道



令和6年1月9日、ピュアリティまきびにおいて、岡山市連合町内会新春互礼会が開催されました。来賓として、大森市長はじめ田口議長、森田副議長、林・竹中両副市長、ファジアーノ岡山の北川社長にご臨席を賜り、約80名が出席して開かれました。

令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが変わり、コロナ禍前の状況に戻りつつありますが、以前より時間を短くしての開催となりました。

永見会長の年頭のあいさつでは、岡山市連合町内会と姉妹提携を結んでいる鳥取市、姫路市の連合組織との姉妹交流会が4年ぶりに開催され、自粛していた他市との交流を再開することができたこと、会員視察研修で「自治組織のICT活用」について学んだことを岡山市でも活動に活かしていきたいこと、2月4日に予定している、岡山市町内会長等懇談会に多くの皆様のご参加をお願いしたいことなどのお話がありました。

次に、今年度、様々な賞を受賞した岡山市連合町内会会員のご披露と花束贈呈があり、その後、大森市長、田口議長より来賓のご挨拶をいただきました。

ファジアーノ岡山の北川社長から次のシーズンに向けてのお話を聞く事もでき、盛会のうちに終えました。



会長あいさつの様子



会場の様子



受賞者への花束贈呈

おいしいデザートのお菓子をどうぞ・・・

株式会社ドンレミー 岡山工場  
岡山市南区藤田 566-276 ☎ 086-250-0511  
ドンレミーアウトレット岡山店  
岡山市南区藤田 566-276 ☎ 086-296-2871

ご葬儀・ご法要

### さくら祭典

岡山駅前ホール  
☎086-898-1234  
岡山市北区駅元町5-1

県南9店舗展開

十日市ホール	上道ホール
江並ホール	あかいわホール
今井ホール	せとうちホール
きびつホール	西大寺ホール

小林内科診療所から名称変更

内科 腎臓内科 人工透析 皮膚科・美容皮膚科

### 青江クリニック

院長 原口 総一郎(内科専門医) 副院長 原口 裕子(皮膚科専門医)

※予約制の診療科目もありますのでお電話でお問合ください

外来診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00～12:30	●	●	●	●	●	●
午後3:30～6:00	●	●	●	●	●	●

休診日/曜日: 日曜・木曜・土曜午後  
および皮膚科・美容皮膚科は火曜休診

透折時間

	月	火	水	木	金	土
午前8:00～	●	●	●	●	●	●
午後1:00～	●	●	●	●	●	●
午後5:00～	●	●	●	●	●	●

☎(086) 岡山市北区青江5-1-3  
**226-5022**  
<https://tenseikai-aoe.or.jp/>

## 岡山商工会議所との懇談会

岡山市連合町内会

副会長 小野 大作



去る11月30日に岡山商工会議所談話室にて、商工会議所との懇談会を行いました。

冒頭商工会議所側から「北前船フォーラム」が開催され、岡山の歴史や伝統芸能など、それぞれの取り組みについての発表が行われ、西大寺が寄港地になっていた歴史があり、寄港地として50番目の登録が出来るように進めているので協力をお願いしたい、と申し出がありました。

その後、おかやまマラソンの開催方法について・道路計画・道路の交通渋滞・駅前の電車の乗り入れ・2号線バイパス高架橋化・50戸連たん廃止などについて、かなり多岐にわたり懇談が続きました。

特に商工会議所としては、岡山市の活性化として駅前だけでなく表町のカルチャーゾーンの活性化を進めているので、岡山で宿泊をして頂き、そしてお金を落としてもらえるよう宿泊や飲食関係など民間も含めて横の連携が取れるようにしていきたい、と言われていました。確かに岡山市内には魅力が少なく、素通りされている印象があるので、もっと宿泊関連施設も充実していけばよいのにとの意見がありました。

その他、花火大会の復活の話題が出ましたが、これも実現にはかなりハードルが高いことなどがあるようです。

最後に新アリーナ建設について商工会議所から協力要請がありましたが、地元からはアクセスや渋滞の事が懸念材料で、それがクリアできれば前へ進んでいけるのではないかと、との回答が出ていました。

このようになかなか突っ込んだ意見交換ができ、意義深い懇談となりました。



懇談の様子

## 都市整備局との懇談会

岡山市連合町内会

副会長 那須 和夫



令和5年11月27日(月)平澤都市整備局長・職員と役員12名で懇談をしました。

- 公園・道路整備は各区役所で実施しているが、区の予算が少ないので整備が遅れているのでは、また、用水路への対策事業が終了したが危険箇所は残っています。
  - \*市全体の限られた予算の中で、予算確保をしっかりと行い危険な箇所(要望)があれば優先して整備を進めている。
- 都市道路計画を作成し市民生活に重要な道路整備とは別に施設の建設の施工・計画がありますが、優先順位は。
  - \*現在、外環状線工事は中心部を通過せず街外へ行く車両を通す用に優先して実施中。旭川には橋が足りないため、工事中の下中野平井線の橋は急ぎたいと思っている。
  - 事業により予算組が違い配分しているの理解をしていただきたい。
- 空き家対策助成制度(除去後の土地の利用)については。
  - \*特定空き家の指定は、職員が出向き調査して部内の会議で決定(危険度が高く周囲に迷惑がかかる建物)除去後は地域の活性化につながる利用を(利用既定有り)。
- 通学路の白線が薄くなり消えている箇所が多数ある。
  - \*確認をしていて、3年間で重点的に実施している。
- 岡山吉井線(三野地区)の道路計画については。
  - \*三野公園の山にトンネルを通す計画でこれから事業化する。
- 駅前広場へ路面電車の乗入の事業費・費用対効果と一般車両の乗入れについては。
  - \*当初、約10億円が約90億円になるが重要な都市整備事業なので議会に諮り進めて行きたい。費用対効果は再精査して約1億円超の見込み。案内板・標識を設置し当面はバス・タクシー専用入り口には誘導員を配置する。
- 調整区域開発の制度変更については。
  - \*令和8年3月で現在の制度を廃止する。
- 懇談で市の実施事業を実施前に、市民に対してもう少し丁寧な説明をお願いしたいと思いました。



懇談の様子



きっと明日も、  
ハレ、クラレ。

## ■防災コラム その5 (能登半島地震)

1月1日16時10分頃「令和6年能登半島地震」が発生しました。マグニチュード7.6、震源の深さ16km、最大震度7とされています。地震による家屋倒壊や土砂災害、津波等により、死者が200人を超えるなど、甚大な被害が発生しました。

私は1月9日より23日まで輪島市の輪島中学校(岸田首相が来校)でAMD Aの一員として災害支援の活動をして来ましたので、被災者並びに被災地の状況報告をいたします。

中学校には、概ね550の方が避難されており、教室・図書室・会議室・アリーナ(体育館1)・全天候(体育館2)に居られました。幸いこの時点では電気が回復しており、照明点灯は可能な状態になっていました。

避難所では、コロナ・インフル・胃腸炎といった感染症の方の隔離室として3階の教室を使い、感染の拡大をいかにくい止めるかが大きな課題でした。手指の消毒や排便後の手洗いを必ず行う等の呼びかけで、徐々に感染者数が減っていきました。



写真1 輪島中学校  
左-全天候 中-アリーナ 右-校舎  
手前-運動場



写真2 アリーナ内



写真3 教室

輪島市内の被災状況としては、地震動による家屋の倒壊と急傾斜地の滑落や土地造成の盛土部の変状も顕著でした。また、地盤の液状化による被害は町全体におよんでいました。輪島の中心市街地は、地表から深

吉備学区連合町内会 会長 西村 輝  
岡山大学大学院



さ20m付近まで砂層が堆積しており、地下水も豊富に含んでいることから液状化発生の危険性が高い地域であるといえます。



写真4 家屋の倒壊



写真5 斜面崩壊



写真6 歩道部の変状



写真7 液状化によるマンホールの浮き上り



写真8 液状化によるビル倒壊



写真9 液状化によるビルの沈下



写真10 消失した輪島朝市

石井学区連合町内会

**DOWA** **花回廊**

みんなで咲かそう  
児島湖花回廊プロジェクト

児島湖花回廊サポーターズクラブ  
〒702-8053 岡山市南区築港栄町 31-10  
TEL (086) 262-2911

**飛岡** ひおか  
内科

受付時間 月火水木金土日

9:00 ~ 12:30 ○○○×○○×

16:00 ~ 18:00 ○○○×○○×

往診・在宅医療の実施

岡山市北区中山下 2-8-30

(086) **233-1188**

## ◆地縁による団体（自治会）功労者に対する叙勲について

さて、私こと令和5年秋の叙勲に際しまして旭日単光章をいただき、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。お蔭をもちまして、令和5年11月10日 東京プリンスホテルにて勲章の伝達を受け、引き続き皇居に参内し、豊明殿にて天皇陛下に拝謁の榮譽と共に言葉まで賜り感激の極みでございます。

この榮譽は、長きにわたり、地域の皆様と共に取り組みました活動が評価されたことですので、皆様と共にいただいた榮譽と、心から嬉しく感謝の気持ちで一杯です。

今後ともこの榮譽に恥じない様明るい地域づくりに微力ながら、活動を続けて参りますので、何卒従前と変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして叙勲受章御札の御挨拶とさせていただきます。



長門 修二

## ◆電子町内会利活用コンテスト 2023 結果

利活用コンテスト2023は、電子町内会の機能を使うことで、町内会活動に役立つ事例を募集しました。その中から、下記の活動を最優秀事例・優秀事例としました。

### ※ 最優秀事例

操南学区連合町内会  
操南小学校創立150周年を祝う各種行事への  
支援・参画・広報を通じて学区内のふれあい



### ※ メール一斉配信部門 優秀事例

西宝伝町内会  
メール一斉配信を活用した情報伝達向上事例



### ※ 人材育成・その他 優秀事例

牟佐町内会  
電子町内会役員の引継ぎ・人材育成について



暮らしの中で困ったときは、「**なんでも相談窓口**」をご利用下さい。

どんなときに相談したらいいの？

- どこに相談してよいかわからない。
- 医療費のことで相談したい。
- 医療・福祉・年金・保険（社会保障制度）制度を活用したい。
- 介護のサービスを利用したい、制度を知りたい。
- 退院後の療養生活についての不安。



まずは事前に、お電話でお問い合わせ・ご相談下さい。

**電話：086-271-0976※窓口直通**

（受付時間：毎週月～金曜日 午前9時～午後4時まで）



岡山医療生活協同組合  
総合病院 **岡山協立病院**  
〒703-0511 岡山市中区赤松町9番10号  
Tel.086(272)2121 Fax.086(271)0919



お手持のスマートフォンのカメラで左のQRコードを撮るだけで当院の最新のお知らせなどをご覧いただけます。

## さよなら、コロナ感染症!

大元学区連合町内会  
会長 黒住 輝久



昨年、大元学区は創立50周年という一つの区切りを迎えました。残念ながら、コロナ感染症のため盛大なお祝いの行事は出来ませんでしたでしたが、大元50年の歴史を学区発行の「大元だより」を読み返すことにより、振り返ることができました。

本年令和5年度は、コロナ感染症が5月に5類に移行され、通常の活動が行われました。ほとんどの行事が連続3回中止となり、4年ぶりの開催ということで、先ずは思い出すことから始まり、前回の資料を引っ張り出し、参加者がどのくらいになるか心配しながらの打合せを重ねました。また、各種団体の総会等も書面決議から通常の総会へと戻りました。

大元中央公園では、4月にお花見、私達は公園デビューと言っていますが、各種団体の役員や公民館や小学校で新たに赴任される方にも参加をお願いしています。5月は鯉のぼりを掲揚。7月は学区最大のイベントである「サマーフェスタ おおもと2023」を開催、ブランクを感じることなく、夜店や出演者も例年と変わらないほど参加をいただき、来場者も予想以上で大いに盛り上がりました。年末年始はイルミネーションの点灯を行いました。

また、いつもは岡山市主催の敬老会に参加していましたが、今年より、地域主催の敬老会をとということで、10月に婦人会・愛育委員会を中心に大元神社で「大元学区敬老会」を初めて開催いたしました。新たな挑戦です。

元気を取り戻した大元学区ですが、残念ながら今年50周年を迎えた大元幼稚園が閉園となります。来年度より民間の大元こども園が幼稚園と同じ場所に開園致します。少子化が進み、町内の子ども会が解散する事案が増えています。地域との関りをどのようにするかが今後の課題となります。

今年は令和6年能登半島地震と航空機事故で始まりました。また、変異したコロナ感染症やインフルエンザも流行しています。いつ起こるか分からない東南海地震を頭に置きつつ、ご近所様や地域の方とのコミュニケーションを通して、安全、安心な学区になるよう学区を挙げて取り組もうと思っています。



サマーフェスタおおもと 2023



大元学区敬老会 2023

## 陣屋町足守再発信

足守地域活性化推進事業実行委員会  
事務局長 田中 浩志



当地には二つの全国に発信できるインパクトのある資源があります。

一つ目は、備中足守藩が豊臣秀吉の正室ねね（北政所）の兄である木下家定が1601年に姫路城から移封され立藩した25,000石の外様大名であること。

一時期没収・幕府直轄地となりましたが、再興後は明治まで生き残りました。昨年岡山市に発足した「戦国宇喜多秀家を顕彰する会」はNHKの大河ドラマ化を目指して進行していますが、宇喜多秀家の後岡山藩主として備前・美作の51万石を拝領したのは関ヶ原の戦いで有名な小早川秀秋であります。

彼は木下家定の五男で一時豊臣秀吉の猶子であり、大藩の大名となった息子と同時期に岡山藩の北西の要所を任されたのが木下家定でした。

皆さんこの史実に興味がわいてきませんか。秀吉の菩提寺京都高台寺では「北政所ねね様の四百年遠忌記念事業」を現在実施中で木下家定に縁があり全国的な企画となっています。菩提寺は足守にもある大光寺といます。お霊屋には秀吉・北政所夫婦や藩主等のお位牌が安置されています。

二つ目は、足守出身の医者で蘭学者の緒方洪庵です。洪庵は足守藩士の三男として誕生し16歳まで足守の地で育ち、その後大阪、江戸、長崎で勉学に励み28歳の時、大阪で「適塾」を開塾し幕末から明治の黎明期に活躍した福沢諭吉、木村益次郎、大鳥圭介、佐野常民等多くの門弟を育てました。医者としては種痘を普及させて多くの命を救い、コレラ流行期には医師の対応マニュアルを自費出版し他の医師に無料配布し撲滅に努めました。最近の新型コロナウイルス大流行時には洪庵の実績が再評価され、全国的な顕彰の動きもあると聞いています。イベントは、春は木下家の庭園「近水園」一帯でのさくらまつり、秋は足守特産のメロンまつりなど、幼・小・中の児童生徒や地域住民が一体となり「おもてなしの心」で開催し好評をいただいています。

歴史遺産では、秋の紅葉が楽しめる大名庭園近水園・武家屋敷・陣屋跡・町並み保存地区・緒方洪庵誕生の地など歴史探求も出来る地域です。ぜひ足守にお越し下さい。



近水園



緒方洪庵



メロン祭り収穫祭

## コロナ禍明け元年を学区行事で克服

幡多学区連合町内会  
会長 守安 一



幡多学区連合町内会は、世帯数約 7,700 世帯・人口 19,000 人弱・23 町内で構成する岡山市内屈指の大町内会です。

平素でも、まとめるのに苦勞する大所帯ですが、コロナ禍により、殆どの行事が長期間中止となり、学区内のつながりを保持するのに苦慮していました。このため、同状態克服に向け、5月の5類移行と同時に本年度を「コロナ禍明け元年」と位置付け、各種行事の復活等町内会活動を前面に出したスタートダッシュを図りました。

手始めは、6月、コロナ禍でのび放題となっていた小学校の雑草・樹木を見かねた元気一杯の学区老人会約 70 人が学区の要請にこたえる形で行った除草作業であり、これに続きコロナ禍で中止となっていた防災訓練・スポーツ大会（運動会）・敬老会・各種スポーツ行事等学区内の殆どの大行事を次々に復活させました。

また、殆どの町内が3年間中止していた夏・秋祭りも、10町内会が手探り状態の中で復活しました。各町内とも工夫を凝らした祭りを作り上げた結果、いずれの祭りにも多くの住民が参集し、中でも、赤田町内会の夏祭りは1,500人超・高屋町内会のパークフェスティバルは3,000人超の大動員に成功し、コロナ明けを実感できるものとなりました。

幡多学区内では、約3年後には高島駅南口ロータリー化・認定こども園の開園等の重要行事も多数控えています。本年度のスタートダッシュが、今後の世代間交流に繋がると確信できる1年となりました。



学区スポーツ大会



高屋パークフェスティバル



老人会による小学校除草作業

## “We Love 城東台”でまちづくり

城東台学区連合町内会  
会長 堀田 裕子



城東台学区連合町内会は、今年で25周年を迎える、歴史の浅い町内会です。令和2（2020）年度から、城東台を愛し、住んで良かったと実感できるまちづくりを進めるために、活動テーマ“We Love 城東台”を設定し、さらに「安全・安心なまち」「住環境のよいまち」「助け合えるまち」という三つの具体的な目標を決めて取り組んで来ました。その取り組みの一部を紹介します。

急速に高齢化が進んでいる城東台で、いつまでも安心して生活するには、買物や金融・医療機関、駅等への交通手段の確保は欠かせません。そこで、行政などの支援で、令和3（2021）年4月から生活交通（上道スマイルタクシー「ぐるりん」）の本格運行を開始しました。他町内会との合同で、週3日、1日5便の運行で、今では、1か月延べ約400人の利用があります。

さらに、高齢者世帯等の困りごと解決支援に取り組む互助組織「ご近助くらぶ」が発足し、住民にとって心強い存在になっています。

一方、城東台は緑豊かな反面、緑地の除草や住宅地に隣接する木々の管理、イノシシ対策に課題がありました。近年、町内の有志グループが立ち上がり、環境整備に大きな力を発揮してくれています。

加えて、町内会のスリム化、役員の負担軽減にも取り組んできました。一例が「夏まつり」「敬老会」「コミュニティ文化祭」を「城東台ファミリーフェスタ」として一本化したことです。

最後に、これらの取り組みを進めるには、何よりも住民の共通理解が大切です。役員会の概要や「連合町内会だより“We Love 城東台”」の配布で、情報公開を積極的に行っています。



2023年度  
城東台ファミリーフェスタの様子



城東台ファミリーフェスタの  
オープニングはだんじりの入場から



2020年度から設定した活動テーマと具体的な目標

## 浦安学区でイベントを初開催

岡山市南区役所  
区長 梶家 薫



昨年11月25日(土)、南区役所駐車場をメイン会場にした初のイベント「DIG in MINAMI-KU 爽り区のグルメ&カルチャー」を開催しました。

このイベントは、新型コロナウイルス感染症でこれまで中止や延期となっていた地域行事が少しずつ再開される中、活気ある地域を取り戻すための一助になればと思い企画したものです。

浦安学区連合町内会 永見勝会長にもアドバイスをいただきながら、無事、開催の日を迎えることができました。

当日は、およそ5,000人の方にご来場いただき、浦安小学校、芳泉高校、興陽高校など南区内の学校や地域団体が、見事な演技や日頃の活動の成果を披露してくださいました。

また、南区内で人気のお店を含む多くの飲食店の出店があり、おいしいグルメを味わってもらい、来場された皆様には、一日を通して楽しんでいただくとともに、地域の絆づくりの一端を担うことができたのではないかと感じています。

さて、南区役所がここ浦安に移転整備されてから、はや10年が経過しました。令和4年には笹ヶ瀬令和橋が開通したことにより、南区内外へのアクセスが容易になり利便性が増したことでさまざまな活動への優位性が高まっており、南区が着実に発展していることを実感しています。

これもひとえに、連合町内会をはじめ単位町内会の皆様、また地域の皆様の並々ならぬご尽力のおかげであると深く感謝申し上げます。

今後とも、皆様方との連携のもと、南区役所に親しみをもってもらえるよう地域の方と顔の見える関係づくりを進めていき、南区の更なる発展に全力を尽くしてまいります。

引き続き、皆さまからのお力添えを賜りますよう、よろしく願いいたします。



来場者で賑わうイベント会場



浦安小学校金管バンドによる演奏

## 高齢化社会に伴う困りごとと支援活動について

灘崎学区連合町内会  
会長 中村 幸敏



灘崎学区も単身や夫婦のみの高齢者世帯が多くなり、地域のつながりも弱まりつつあり、身近な地域で高齢者を支えることが大切となってきています。今後は歳を重ねるごとに今まで出来ていた身の回りのことができにくくなる方が増えてくる現状があります。

以前より生活支援サービスをしている地域の話を知っていたので、岡山市社協に相談を持ち掛けたところ快く受けていただき、切山基金活用の提案をしてもらい生活支援サービスに必要な道具や機材を購入し、地域に住む人の共通の話題になっている日常生活の中でちょっとした困りごとを自分事として考えたときに、地域みんなで解決していく必要があると考え、お助け隊なるものを立ち上げ活動に取り組むこととなり、2年になります。

依頼の多くはゴミ出しや庭木の剪定・庭の草取り・電球の取り換え等の軽作業から家具や重量物の移動があります。

現在では、口コミによって少しずつですが輪が広がっていき支援活動をしていくことによって、その地区の高齢者さんと会話からコミュニケーションもできて地域の活性化にもつながっています。

今後は回覧版等を活用し、地域住民に活動を広く知ってもらい実際に依頼を受けて活動したからこそわかる作業内容についてはコアメンバーで見直しをする必要があり、依頼者のニーズに答えられるようにスキルアップしながら気軽に声をかけていただける環境作りをし、今後は、コアメンバーだけでなくそれぞれの得意や特技を活かせるように事前に来ることを聞き取りをし、ボランティアを増やしていき、町内で暮らす老老世帯の困りごとのお手伝いができて喜んでいただけるような活動をし、安全安心に貢献していきます。

### 取り組み前後の状況

〈前〉

〈後〉



## 清輝学区の取り組み

清輝学区では、令和4年11月12日に清輝小学校の150周年記念式典を開催させて頂きました。

記念事業を実施するにあたっては教職員、多くの卒業生や地域の方にご協力を頂き無事終えることが出来ました。

地域の方がいかに学校を大切に思っている事が良くわかりました。

その中で分かった事が、何度か学校名、場所が変わりましたが明治13年に現在の清輝小学校と改称、明治43年に現校地に移転して以来、一帯を学校の名前がついた後から「清輝学区」と呼称され現在に至っていることでした。

現在、地元では高齢化が進み、近くに行けない、ゴミを出すのも大変等の問題が町内会長さんから相談を受けて、令和3年に社会福祉協議会（支え合い推進員）を中心として、町内会長、婦人会等で何度も会議を重ね「清輝応援隊」を結成、年に何度も集まり問題点等の洗い出し対応をすることに決めました。

また今年度は、中学校区で3回開催された「災害時の逃げ先を考えるワークショップ」の合同会議にも参加して、災害時の福祉避難所開設のノウハウを勉強し、その中で地元には住民及び要配慮者の命と健康尊厳を守るための避難場所が小学校、コミュニティハウスし

清輝学区連合町内会  
会長 中原 一郎



かない事が分かり今後の対応が必要なことが分かりました。

最後になりますが、現在町内会長・役員のなり手がいなくて困っている町内会が多くあります。今後は町内会長・役員をいかに若い方に受けて頂くかが早急な課題です。



150周年記念式典



ハグ



簡易ベット組立

## 建部学区の紹介

建部町は岡山市の最北端に位置し、福渡・建部・竹枝の3学区から構成されています。

謳い文句は「釣りと桜と温泉の町」です。  
釣り=旭川の鮎釣り、桜=たけべの森のしだれ桜の他川土手の桜並木、温泉=たけべ八幡温泉（アルカリ性単純温泉）

今回はその内の建部学区の紹介です。  
春：たけべの森はっぼね桜祭り（建部学区区づくり事業）

夏：建部町納涼花火大会（3学区区づくり事業）

秋：建部祭り（備前建部郷秋季大祭=建部上の七社八幡宮に七地区の神社から神輿と獅子舞・棒遣いが集まり盛大に執り行われる）を初めとした各神社の秋祭り

冬：各地区のとんど焼き  
など、地域活性化、伝統行事・芸能の継承に努めています。

各町内会では「健康教室」を年6回程度開催し、健康体操、認知症予防、防災訓練、詐欺防止、交通安全等の講習・実践を通じて、健康寿命を延ばし地域共生を目指して活動しています。

昨年11月6日に「世界かんがい施設遺産」に「建部井堰（一ノ口井堰）」が登録されました。県下2か所目の登録です。300年以上前から建部地域の100haに大井手用水を通じて農業用水を供給してきました。

建部学区連合町内会  
会長 垣本 広司

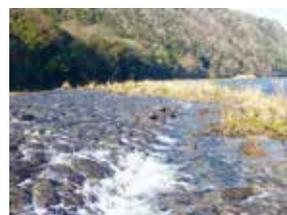


旭川の中程に斜めに手を差し出したような形をしています。幾多の洪水にも耐えて現存している石積み井堰です。発想と築石技術の素晴らしさに唖然といたしました。

建部学区連合町内会としてもこの井堰を貴重な地域資源と位置づけ、地域活性化につながるように活用していきたいと考えています。



建部井堰全景



抵抗を考慮した石組み



緻密に組まれた石組み

# 龍ノ口山麓の歴史史跡を訪ねて

竜之口学区体育協会  
会長 田中 強



龍ノ口山の麓には、数多く史跡があります。竜之口学区体育協会では、毎年「ふれあいウオーク」を開催し学区の皆さんとこの史跡を歩きます。その史跡を少しご紹介します。

竜之口小学校を出発し、最初に「大神神社」があります。大神神社は、平安時代の初期に編集された延喜式神名帳に大神神社の名があり千年以上続く由緒ある神社です。次に、この地に「土田村の大恩人喜兵衛様」のお話があり、江戸時代池田光政公の時岡山城下が大水で大飢饉となり土田村の年貢責任者であった喜兵衛さんが年貢未納の責任を取り、妻子五人と自ら自害し、他の村人は事なきを得たと言うお話。次に、戦国時代龍ノ口山の龍ノ口城（現在の竜之口八幡宮）城主穰所元常を攻め滅ぼした宇喜多直家の策略のお話。次に、龍ノ口山の「車塚古墳」三世紀の古墳で、卑弥呼に縁のある三角縁神獣鏡が七面出土した由緒ある古墳のお話。次に、湯迫温泉の裏にある「浄土寺」は、天台宗のお寺で8世紀の頃に報恩大師が、孝謙天皇に命じられて建立され、最盛期は40余坊が立ち並ぶ大寺院であったという話。また、境内の一角に「大湯屋の釜」がありこの地に平安時代の末期俊乗坊重源が東大寺大仏消失の再建を任せられこの地で勸進の活動をした。次に、浄土寺から西に100m ぐらいに「関白屋敷跡」

があり、平安時代平清盛が京都で後白河法皇にクーデターを起こしその時の関白藤原基房をこの備前の地に流罪し住处となった屋敷跡。また、屋敷跡の入口付近に説明版がありそこには、鎌倉幕府の5代執権北条時頼がこの地を訪れたとあります。最後に、西200mに「賞田廃寺跡」があり、古代の豪族上道（かみつみち）氏の氏寺と言われ1町四方には、金堂・東西基壇等が確認され、最盛期は、7世紀から8世紀で繁栄が偲ばれます。是非皆様にこの歴史あるこの地を訪れていただきたいと思います。



大神神社



関白屋敷跡（藤原基房）



大湯屋

## 国指定史跡「浦間茶臼山古墳」保存会の設立について

御休学区連合町内会  
会長 竹井 秋人



令和5年11月10日に国指定史跡「浦間茶臼山古墳」保存会を設立いたしました。

この古墳の特徴は、岡山県最古で3世紀後期につくられた全長138mの大きさの前方後円墳で、造山古墳の規模350mには及びませんが約1世紀前に造られています。

邪馬台国の女王卑弥呼の墓と思われる奈良県桜井市の箸墓古墳（3世紀中期ごろ）の相似形で、規模が2分1に縮小された大きさです。これは、吉備の王が畿内に次ぐ実力者で、そして畿内政権との関係を探るうえでも重要な古墳です。

古代からの遺跡ですが地域住民の中では、記憶はうすれて価値も希薄になり、このままでは歴史の中に埋もれてしまうように思われましたが、非常に価値があり、宝として貴重な文化財資源そして観光資源であることが再認識でき、地域で守っていかねばならないし、より価値を高めることや周辺の整備等もあり、いろいろな情報発信もできるように古墳の保存会を立ち上げて、地域と皆様の協力で一つ一つ実行していきます。

今回は、「浦間茶臼山古墳」保存会が活動することで地域の誇り、価値観、きずな、情報発信等ができ世代間の交流が増し、小学校の校外学習等を通じて次世代につなげる人材育成・発掘ができ、観光資源としての価値がでるようにしていきます。そして御休地区には、約1000年前に創建された神社や世界灌漑遺産に登録され江戸時代に造られた倉安川など多くの史跡がありますので地域の歴史をつなげていく活動としていきたいと思っています。



案内看板



浦間茶臼山古墳

## 防災マップづくりから 避難所開設訓練へ

灘崎学区宗津町内会  
副会長兼防災担当 大賀 寿夫



灘崎学区は、岡山市の南端に位置し、その中で宗津地区は事前開設避難所の対象となっている灘崎中学校に隣接しています。

宗津町内会としては、以前から事前避難所となっている灘崎中学校での避難所開設訓練の実施を課題として持っていましたが、なかなか進展しないのが実情でした。そのような状況の中で、令和4年8月に開催された市の防災講習において、担当者の方から「(公社)日本技術士会様が、防災マップづくりの作成支援をしていますかどうか。」との声掛けを頂きました。

町内会に持ち帰り検討した結果、1町内会だけではなく灘崎学区連合町内会と迫川分校学区の取組としてやっていくこと、また灘崎公民館様にも相談した結果、公民館事業として進めるとなりました。

灘崎学区連合町内会は、宗津、片岡、川張、西高崎、みどりが丘の5町内会、迫川分校学区連合町内会は、迫川、茂曾路、奥迫川の3町内会で構成されていますが、それが2つのグループに分かれて、第1グループは、宗津地区から灘崎中学校まで、第2グループは、川張地区から灘崎小学校までの避難経路をそれぞれ3ルート設定して歩きました。

各町内からの参加者約70名が6班に分かれて、日

本技術士会と建設コンサルタンツ協会の防災委員の方々を指導者として、ルート内の危険箇所や役立つ施設などを確認し、これをハザードマップ上に表示して防災マップの原案を作成しました。

宗津町内会としては、完成した防災マップ(A3版)を市の補助金を使って町内全戸に配布するとともに、町内の医療機関に対しては、大型の防災マップ(A-1版)を作成して掲示をお願いしましたが、この取り組みは、町内の皆さんの防災意識の向上に繋がるものと思っています。

また、連合町内会の一員としては、今回の事業を今後の避難所開設訓練等に繋げていくよう取り組みたいと思っています。



まち歩きの様子



防災マップづくり

## 憩いの場「あけぼの公園」

南輝学区あけぼの町内会  
会長 三宅 義史



あけぼの公園には、児島湾干拓功労者である藤田傳三郎翁の立派な顕彰碑があり、公園の隣接地には、天照皇大神・豊受大神を御祭神とする岡南神社が建立されています。

### 「藤田傳三郎翁顕彰之碑」

藤田傳三郎は、長州(山口県)萩で造り酒屋を営んでいましたが、明治2年28歳の時に大阪に出て仕事に大成功を収め、明治10年に藤田組の基礎を固めました。その後、日本一の銅山である小坂鉱山を政府から買い取り鉱山業に進出し、児島湾の干拓に乗り出しました。南海電鉄、関西電力、毎日新聞社などにも多くの業績を残したので、明治の財界の風雲児、関西財界の大立者と言われた。



藤田傳三郎翁顕彰之碑

### 「岡南神社」

昭和30年に天照皇大神の御分霊を拝受しました。昭和31年に岡南神社本殿を建立し、鎮座祭と正遷宮祭を盛大に行いました。

岡南神社の御祭神は天照皇大神と豊受大神であり、伊勢神宮の内宮と外宮の両宮の神を奉る神社で、両宮を奉る神社は岡山市内にも珍しく、格調が高い神社です。

公園では子どもたちがボールで遊び、高齢者がグラウンドゴルフを楽しんでいます。公園の周囲には季節の花が植えられ、憩いの場所となっています。



岡南神社

## 岡山市連合町内会の動き

### ◎常任理事会

- 第4回(10月3日) 議題 会員視察研修について他
- 第5回(12月11日) 議事 現年度の事業進捗状況について他
- 第6回(3月6日) 議事 令和6年度事業計画について他

### ◎理事会

- 第4回(10月23日) 議事 岡山市町内会長等懇談会について他
- 第5回(12月18日) 議事 現年度の事業進捗状況について他
- 第6回(3月19日) 議事 令和6年度事業計画について他

### ◎会計監査会議

(10月13日) (1月26日)

### ◎専門委員会

- ・会報第42号編集委員会(11月27日)(1月18日)(2月21日)
- ・ICT推進専門委員会(1月24日)
- ・共済制度運営委員会(1月23日)

### ◎会員視察研修(11月15日~16日)

### ◎全国自治会連合会北海道札幌大会(10月18日)

〈関連記事P4〉

### ◎全国自治会連合会中四国ブロック会研修会(2月15日)

### ◎新春互礼会(1月9日) 〈関連記事P5〉

### ◎岡山市老人クラブ連合会との懇談会(10月16日)

### ◎岡山商工会議所との懇談会(11月30日)

〈関連記事P6〉

### ◎岡山市都市整備局との懇談会(11月27日)

〈関連記事P6〉

### ◎受賞報告

- ◇岡山市有効表彰(11月3日) 矢根 亮二(石井)
- ◇永年勤続町内会長表彰状及び退任町内会長・区長感謝状(12月1日)
- ・15年以上勤続学区・地区連合町内会長…2名(表彰状)
- ・20年以上勤続単位町内会長…4名(表彰状)
- ・退任(5年以上勤続)単位町内会長・区長…58名(感謝状)
- ◇自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰(11月30日) 松浦 満(内山下)



- ◇秋の叙勲(11月3日) 〈関連記事P8〉 長門 修二(足守)

## 岡山県自治会連合会の動き

- ◎全国自治会連合会北海道札幌大会(札幌市)(10月18日) 〈関連記事P4〉
- ◎全国自治会連合会中四国ブロック会研修会(福山市)(2月15日)

## 全国自治会連合会の動き

- ◎全国自治会連合会北海道札幌大会(札幌市)(10月18日) 〈関連記事P4〉
- ◎全国自治会連合会中四国ブロック会(福山市)(2月15日)
- ◎全国自治会連合会中四国ブロック会研修会(福山市)(2月15日)

食のちから。  
CENTRAL FOODS GROUP  
自然派給食。  
「食のちから」で子どもから高齢者までより多くの方へ健康と生活をサポートします。  
公式ホームページは、こちらから! →

社会福祉法人 鷺山会  
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)  
岡山シルバーセンター  
〒701-1345 岡山県岡山市新庄上545-1  
☎086-287-5111 ☎086-287-5005  
岡山シルバーデイサービスセンター  
岡山シルバー在宅介護支援センター  
ケアハウスゆうすてい岡山

アンテナショップ、スポーツジム併設  
健康複合施設  
LOCOMOTIVE「オクステ」STATION  
DAIYA  
ダイヤ工業株式会社  
〒701-0203 岡山市南区古新田1125 TEL(086)282-1245

理学療法士・作業療法士による  
専門的な訓練を行う  
**岡北整形外科医院**  
岡山市北区津島東2-7-1 ☎(086)255-0777  
グループホームこうほく ☎(086)214-2200  
こうほくデイサービスセンター向日葵 ☎(086)898-1555  
協力事業所  
●れもん居宅介護支援事業所 ☎(086)898-2212  
●オリーブ訪問看護ステーション ☎(086)898-2077  
●すみれヘルパーステーション ☎(086)253-3912



# 漢字クイズ

問題 2つの漢字に同じ部首を加えて、二字熟語を作成してください。

例 

市	末
---	---

 + 

女
---

 = 

姉	妹
---	---

1 

申	土
---	---

 + 

--

 = 

--

6 

右	牙
---	---

 + 

--

 = 

--

2 

直	木
---	---

 + 

--

 = 

--

7 

祭	良
---	---

 + 

--

 = 

--

3 

令	東
---	---

 + 

--

 = 

--

8 

也	或
---	---

 + 

--

 = 

--

4 

斤	刀
---	---

 + 

--

 = 

--

9 

田	相
---	---

 + 

--

 = 

--

5 

方	弗
---	---

 + 

--

 = 

--

10 

愛	未
---	---

 + 

--

 = 

--

正解者の中から抽選で10名の方に粗品を進呈します。  
〒住所・氏名を記入の上、下記までお送りください。

〈送付先〉 〒700-8544

岡山市北区大供一丁目1-1

岡山市連合町内会 会報編集委員会

〈締切〉 令和6年4月30日必着

〈発表〉 発送をもって代えさせていただきます。

前号の答え

百日紅

一	火	山	外
番	紅	花	入
	白	同	去
和	歌	山	県
	合	間	日
百	戦	通	勤
			客

## 岡山市市民憲章を知っていますか？

岡山市は美しい自然と豊かな風土に恵まれ、すぐれた教育文化の伝統を持っています。私たち市民は、この岡山市を愛し市民であることを誇りにしていますが、さらに、みんなの努力と協力によって、より美しく住みよい近代的民主社会を築いてゆくことを念願し、ここに岡山市民として実践してゆかねばならない日常生活の規範を定めます。

- みんなに親切をつくし、あたたかい楽しいまちをつくりましょう。
- 秩序と規則を守り、明るい安全なまちをつくりましょう。
- 花や木をたいせつに育て、美しい緑のまちをつくりましょう。
- 紙くずやゴミの始末をよくし、気持ちよい清潔なまちをつくりましょう。
- 文化財をたいせつに守り、伝統あるゆかしいまちをつくりましょう。



## 編集後記

令和6年元旦に能登半島地震、2日には飛行機事故が起こり大変な年になるのかと思いました。被災された方々には哀悼とご冥福をお祈りいたします。

しかし岡山のスポーツでは、全国中学校駅伝大会で京山中学校が男女優勝、就実高校女子バレーボール部が全国優勝、天満屋の前田穂南選手がマラソンで日本記録を更新するなど明るいニュースがありました。

新型コロナが5類に移行し岡山市連合町内会も各種事業も復活開催して、活気が出ています。令和6年2月4日に開催された岡山市町内会等懇談会では、表彰・報告と講演会を開催し、「海ごみ」について講演があり、プラスチックが令和6年3月から資源回収となりますので大変有意義な講演であり町内会での取り組みも重要と思いました。

配布されるころは、桜の開花が聞ける頃と思いま

す。ご協賛くださいました企業・団体様及び関係各位並びにご寄稿くださいました皆様方には、心より厚くお礼を申し上げ編集後記といたします。

【編集委員長】 正保 弘行

【編集副委員長】 竹井 秋人

【編集委員】 祇園 茂・長門 修二

多賀 克充・小林 泰三

